

第62回山形県縦断駅伝競走大会 ピンクの襷(たすき)に思いを込めて

新緑の山形路 305.4 ㌾を駆け抜ける「第 62 回山形県縦断駅伝競走大会」が 4 月 27 日～ 29 日の 3 日間で開催され、県内 11 チームのランナーが地域の思いのこもった襷(たすき)をつなぎました。

今大会では、白鷹町から 5 人の選手が長井西置賜チームで出走。晴天となった大会 2 日目の白鷹中継所では、多くの町民の皆さんや荒砥高校の生徒たちが応援に駆けつけ、懸命に襷(たすき)をつなぐランナーに熱い声援を送りました。長井西置賜チームのランナーは、地域の皆さんの応援を力に変えて力走。途中で首位争いを演じる場面もあり、チームは昨年の 8 位から順位を 3 つ上げる総合 5 位。5 大会ぶりの入賞を成し遂げました。



—《白鷹町出走選手》—

- 渡部 功将 選手(山口)
- 手塚雄一朗 選手(十王)
- 紺野 凌 選手(萩野)
- 紺野 圭汰 選手(萩野)
- 竹田 裕道 選手(滝野)

1_ 白鷹中継所を 6 位で通過した長井西置賜チーム 2_ ひがしね保育園の前では、園児たちが一生懸命声援を送った

仲間とともに活躍を誓う 白鷹町スポーツ少年団合同結団式

白鷹町スポーツ少年団合同結団式は 4 月 8 日、荒砥小学校体育館で行われました。

今年度の団員は 21 団体 438 人。入団者承認において全団員の入団が承認され、その後それぞれの団に団旗が授与されました。そして、団員を代表して白鷹バレースポーツ少年団の布施ななみさんが誓いのことばを宣誓。向田俊一本部長が「活動を通して、強い体と強い心を養ってください」と述べると、団員たち一人ひとりが気持ちを新たに今年 1 年の活躍を誓い合いました。



堂々と誓いのことばを述べる布施さん

優しい気持ちで思いやり運転！ 街頭での交通安全啓発活動を実施

春の交通安全県民運動に合わせた交通安全啓発活動が 4 月 12 日、セブンイレブン白鷹町荒砥店駐車場で行われました。

この日は、白鷹町交通安全対策協議会や白鷹町交通安全母の会、白鷹町防犯協会などから約 70 人が参加。『やさしい気持ちい～っパイ!! 乗せて…思いやり運転!!』をキャッチフレーズに、白鷹町陽光学園で作られたかぼちゃパイを交通安全を呼びかけるチラシなどとともに配布し、「気をつけて運転してください」と運転手一人ひとりに交通安全を呼びかけました。



笑顔で交通安全を呼びかける参加者に、ドライバーの皆さんも笑顔で応えた